

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月20日

計画の名称	市街地開発事業によるまちづくり											
計画の期間	令和04年度 ～ 令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	松戸市											
計画の目標	居住環境の充実や、都市基盤施設整備及びオープンスペースの創出を通じ、まちの快適さ・暮らしやすさの向上を図ることを目的とするまちづくりを実現させるために、土地の有効利用・高度利用化を促進させる。											
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		4,770	A	4,770	B	0	C	0	D	0
										効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R10末（事業完了後）
1	4階建て以上の建築物の宅地面積の割合を、2%（R4当初）から100%（R10末（事業完了後））に増加させる。			
	土地の合理的及び高度利用による都市機能の更新に資する共同建築物の整備として、市街地再開発事業地区内における宅地面積のうち、4階建て以上の建築物の宅地面積の割合	2%	%	100%
	4階建て以上の建築物の宅地面積の割合（%）＝ 4階建て以上の建築物の宅地面積（㎡） / 地区全体の宅地面積（㎡）*100			
2	事業化を促進している地区において、地権者との協議等を行い、事業化の機運を高める。			
	事業化を促進している地区において、整備を具体的に検討する組織が立ち上がっている地区数	0地区	地区	1地区

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	松戸市	間接	北小金駅南 口東地区市 街地再開発 準備組合	-	-	北小金駅南口東地区第一 種市街地再開発事業	再開発 A = 0.9ha	松戸市						183	1.09	未策定	
	A13-002	市街地	一般	松戸市	間接	北小金駅南 口東地区市 街地再開発 組合	-	-	北小金駅南口東地区第一 種市街地再開発事業	再開発 A = 0.9ha	松戸市						4,566	1.09	未策定	
	A13-003	市街地	一般	松戸市	直接	松戸市	-	-	北小金駅北口地区都市再 開発支援事業	計画コーディネート業務 A = 2.8ha	松戸市						21	-	未策定	
												小計						4,770		
											合計						4,770			

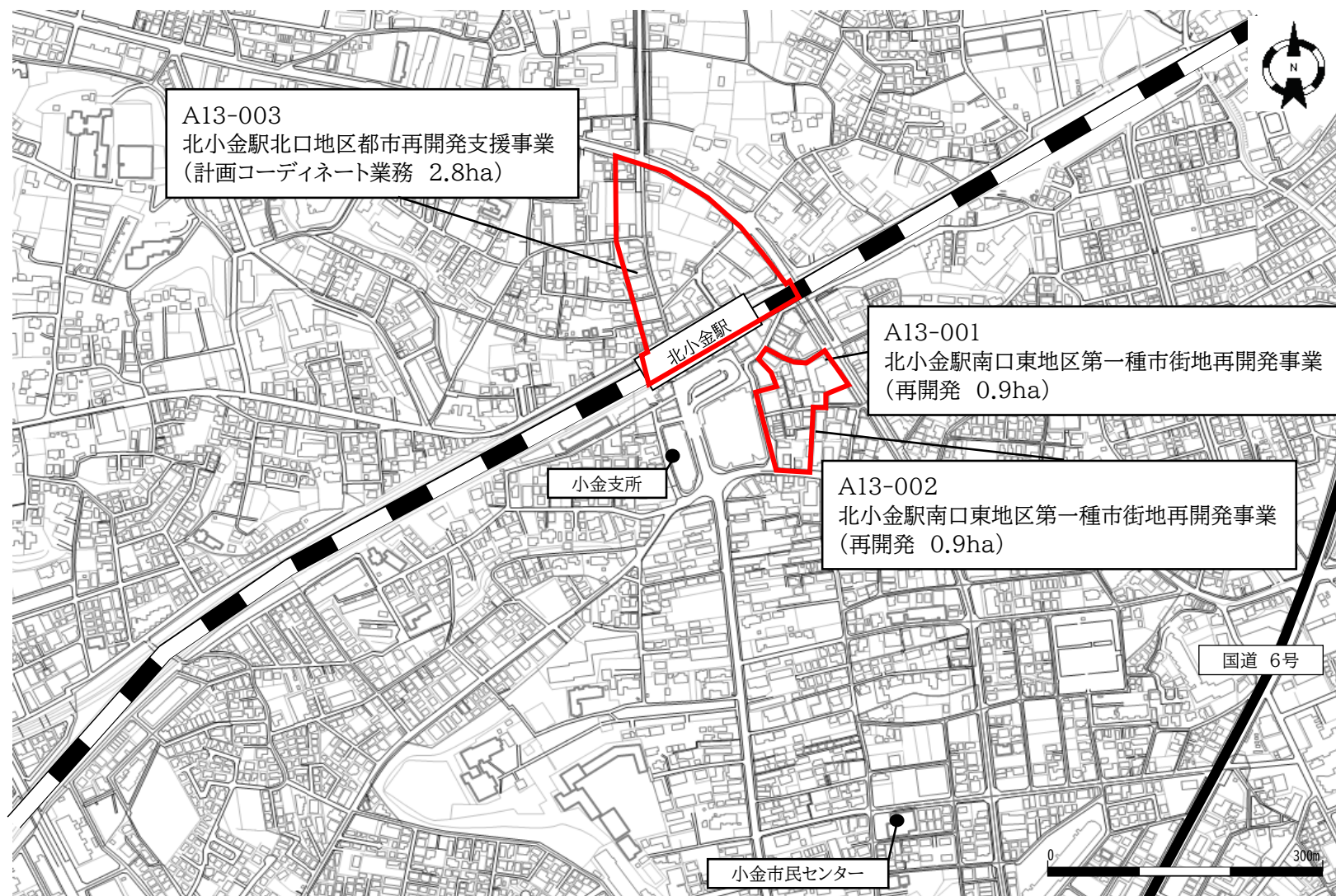
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	61	112	32		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	61	112	32		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	97		
支払済額 (e)	61	15	129		
翌年度繰越額 (f)	0	97	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

■参考図面

計画の名称	市街地開発事業によるまちづくり		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和8年度(5年間)	交付対象	松戸市



事前評価チェックシート

計画の名称： 市街地開発事業によるまちづくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○